

令和6年度第1回佐世保市子ども・子育て会議分科会(施策2) 議事録(要約版)

日時: 令和6年9月3日(火)19時00分~20時30分

場所: 中央保健福祉センター(すこやかプラザ)8階「講堂」

議事(1)次期「させぼっ子未来プラン」の策定について	
質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
資料4の1ページ目左側、未就学児の保護者に対するアンケート『問30 佐世保市における子育ての環境支援について「不満とと思っている点」』の選択項目に、前回(平成30年度)には選択肢としてなかった「塾や習い事への経済的支援がない」が、新たに設定されたのはなぜか。	子育て世帯への経済的支援として、塾をはじめとした学校外教育への支援の取組をしている自治体が他にあり、本市におけるニーズの把握のために、今回設問を追加した。
資料4の5ページ目左側、「小学2~3年生へのアンケート」問11など、放課後の過ごし方に関する設問に関し、放課後児童クラブの利用状況について、ひとり親世帯と非ひとり親世帯との比較において、ひとり親世帯の利用割合が少ない結果となっているデータがいくつかあるが、この要因等について、予測で構わないのでお尋ねしたい。	放課後児童クラブの利用にあたっては、利用料の負担がひとり親世帯にとって一つのネックになっていると予想している。 ひとり親世帯に対しては、利用料の減免措置を講じているが、それでも、利用料の負担がネックになると思う。 また、児童センターを利用する子どもは、利用料がかからないことが選択される一因であるだろうと推測している。
ひとり親世帯では、放課後児童クラブを利用している人が少ない分、児童センターに流れている可能性があるということなのか。	児童センターがない地域については、地域のコミュニティセンターの中にある図書スペースなどの利用料がかからないところで過ごしていると思われる。
資料4の1ページ目右側、未就学児保護者に対するアンケート問13において、「地域子育て支援拠点事業を利用していない人」が81.2%と回答されており、ほとんどの方が利用していない。 例えば、利用にあたっての手続きが難しいのであれば、見直しをするなど、せつかくのサービスを利用しやすくすべきだと考える。	地域子育て支援拠点事業は、基本的には在宅の親子、乳幼児を対象としたひろば事業になっている。 令和5年度の在宅の親子の率が20%程度であり、3~5歳児の保育料の無償化に伴い、ほとんどの家庭では保育所や幼稚園を利用し、在宅の家庭が減っている状況にあり、事業の対象となる在宅の親子率に見合った割合にはなっていると考えている。 また、事業名称が難しかったのではないかと。 子育て支援センターやひろばと認識できるように、わかりやすい表現が必要であった。
佐世保市では、子育てに対する色々な支援、事業があるにもかかわらず、当事者に対し、どういったサービスがあるのか伝わっていない、利用の仕方がわからない、利用しづらい、よくわからないから手を出さない、という状況にあるのではないかと考える。 いい取り組みを知ってもらい利用してもらうために、もっとPRが必要。	情報発信は非常に大事だと考えている。発信の仕方も考え進めていきたい。

<p>広報はされているが、Facebook やホームページなど、利用者側が探しに行かないといけない。</p> <p>Instagram などを活用して広報している自治体もある。</p> <p>せつかくのいい支援事業をみんなが知る機会を増やした方がいい。</p>	
--	--

**議事(2)次期「させぼっ子未来プラン」策定に向けた佐世保市の子どもと子育てを取り巻く現状と課題**

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
<p>資料 6「佐世保市の今後の課題」のなかに、ヤングケアラーについての相談の増加や、身近に相談できる相手、助け合う機会も少なくなっていることから、子育て家庭が孤立し、負担感が増加しているとの記載がある。</p> <p>ある市で開催された研修に参加した際、参加した中高生の親に対する意見として、子どもたちの幸せを願ってくれることはうれしいが、まずは、親が幸せであってほしい、親が楽しい時間を過ごしてほしいというものがあった。</p> <p>子育て支援という観点では、地域との繋がりを持ち、親が楽しむ姿・生き生きとした姿を見て、子どもたちは幸せな場所、自分の居場所を見つけるのではないかと思った。</p>	
<p>資料 4 のアンケートの結果を見ると、放課後の過ごし方について、「塾や習い事」の数が多かったことや、今回の調査で新たに「塾や習い事への経済的支援がない」という設問を追加したとのことだったが、そういった部分は、今回の現状の課題などには反映しているのか、或いは、反映しようとしているのか教えていただきたい。</p>	<p>「塾や習い事」の件については、施策 4 の経済的推進という分野の中で、取り上げさせていただく。</p> <p>今回この設問を追加した意図は、塾などの学校外教育に対する支援を行っている自治体があるが、佐世保市としては、この取組は少子化につながるものか、そもそも市民はどのくらい希望しているのかを把握したいと考えた。</p> <p>実現については今後、検討していく必要がある。</p>
<p>調査回答の要望などに、「子どもの健全育成のための居場所」や「遊び場づくり」との意見があるが、そのとおりでと思う。</p> <p>夏休み明けの 9 月は自殺する子どもが発生することがあるということで、学校では子どもの表情をよく注視するようにしている。</p> <p>子どもにとって居場所がないことに、すごく胸が痛む。</p> <p>すべての子どもに居場所を作ってあげたいと思う。</p> <p>また、地域にも居場所がないというのは、何とかしてあげたいと思う。</p> <p>しかし、公園を見ても子どもは遊んでない。</p>	<p>ご指摘のとおり、現在はゲームの世界でも居場所だという位置付けになっている。</p> <p>そこでの繋がりがあるのは、全くないよりはいいとは思う。</p> <p>また、おっしゃる通り、外で遊ぶ子が少なくなった。</p> <p>要因の一つは天候によるものであり、熱中症の心配などが大きい。</p> <p>もう一つは遊び場がないという指摘をよくいただく。</p> <p>問題の一因として、遊具が問題だと思う。</p> <p>場所はあっても中身がなくインパクトが少ないと感じる。</p> <p>この辺りは公園の所管部局と協議をしなければならない。</p> <p>また、小中学生が遊ぶところがないとの意見がアンケートで</p>

<p>夏の暑さも要因にあると思うが、暑さ関係なしに遊ぶ姿を見かけない。</p> <p>公園に行っても誰もいなければ、居場所にはならない。</p> <p>現在は、ゲームの世界が居場所になり、人との繋がりができており、それも居場所だと考えられているが、やはり屋外でみんなが集まってくるような場所がほしい。</p> <p>例えば、アーバンスポーツ、スケートボードや、ボルダリングができる施設など。</p> <p>中央公園の屋内遊び場は主に幼児向けであり、小学生が遊べる場所があるといいと思う。</p>	<p>もあるので、その辺りはどうにかしたい。</p> <p>現在、小学生にとって一番の居場所になっているのは、放課後児童クラブである。</p> <p>市内 73 クラブ設置しており、本年 10 月には 74 クラブになるが、概ね各小学校に 2 つずつくらいあるような形で整備している。</p> <p>また、児童センターや地区コミュニティセンターの図書コーナーも居場所になると考えている。</p> <p>最近、居場所づくりの一環として、市役所本庁舎 13 階にフリースペースを設けた。</p> <p>昼や夕方は高校生が中心だが、多くの学生でにぎわっている状況がある。</p> <p>その他、子ども食堂も子どもにとっての居場所になると伺っている。</p> <p>現在、子ども食堂に対して業務委託をしているが、これは子ども食堂に来ている親子や子どもの中から、支援が必要な人たちを見つけることを目的として実施している。</p> <p>しかし、最近のお母さんたちは、子ども食堂を人との繋がりの場と捉えている方も多いと聞いた。</p> <p>子ども食堂の支援に対する考え方も改めていかないといけないのかなと思う。</p> <p>トータル的に子どもの居場所をつくって、広く PR することが大事だと思っている。</p>
<p>学童保育の立場から、子どもたちが外で遊ばないのは、暑さも要因となっている。</p> <p>夏休み期間中は、気温が 35 度以上あり、ほとんど外で遊ばず、室内で過ごすことが大半であった。</p> <p>児童や保護者に直接聞いたわけではなく、スタッフ目線ではあるが、物は充実して、困ることはない一方、保護者自身も共働きしていることもあり、心の余裕がなく、児童自身、保護者の幸福度があまり高くないように感じる。</p> <p>このような状況のなか、保護者への支援ができるところが、放課後児童クラブだと思っている。</p> <p>保護者に手伝いを募り、夏祭りを開催した際、とても楽しかったとの声をいただいた。</p> <p>また、現在は、PTA 活動も維持することが大変になっていると聞かし、子ども会がなくなっている地域もある。</p> <p>保護者が関わりあう場がないという中で、放課後児童クラブの役割は重要になってくると思っている。</p> <p>行政の協力も得ながら、児童や保護者に対する支援を</p>	

<p>広げていきたい。</p>	
<p>親の繋がりというところは PTA もすごく大切にしている。 ある小学校では、夏休みに水風船で遊び、足を汚しながら掃除をするイベントを開催された。 子ども 100 人、保護者 100 人、先生 50 人ほど集まって 2,000 個の水風船を割って遊んだが、みんな楽しかったとの声が上がっていた。 PTA は子どもの幸せを願って活動をしているが、親が楽しい、親の笑顔を見せることで、子どもは輝くということを実感した。 社会関係資本といわれ、薄くなっている部分を補強するハードはあるので、ソフト面だなというところをイベントを通じて感じた。</p>	
<p>ジェンダーシティという書籍があり、その中では、都市計画や、公共施設を作る際、男性視点で進められることが多い、例えば公園を整備する場合は、バスケットボールやサッカーができる場所と考えてしまい、女性側の視点がないということが述べられている。 この本は海外で出版されたものだったが、日本の公園を見ても、確かに、主に男の子が遊べるような場所ばかり作っている。 そのため、ジェンダー、女性の視点ということも念頭に置いていただきたい。</p>	
<b>議事(3)その他</b>	
質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
	<p>本日の議事録は、内容を集約した上で、後日送付させていただきます、ご確認をお願いしたい。今回いただいた意見等を踏まえて、計画の骨子案を作成する。分科会長一任のもと、事務局で整理し、2 回目の協議にお示しさせていただく。次回の第 2 回分科会について、改めて日程調整をお願いし、ご案内をさせていただく。</p>